



高 巢 泰 廣 議員

道路整備促進法案について

問 県道と仁菊水線外4路線の早期改良が急務である。県に対して一段と強力に提言が必要と思うが町長の考えはどうか伺いたい。

答 本町は南北19キロメートル・東西9キロメートルと細長い町の区域であり、町を縦貫する縦軸に玉名八女線・和仁菊水線・竜門菰田山鹿線・大牟田植木線・玉名立花線が連絡しており、安和水町の一体化を図り、安全安心な町づくりの構築のため必要不可欠な道路であることから、県においても合併支援道路として重点的に整備促進を図ってもらっている。町としても早期整備に向け国県等へ強力に要望していく。

問 内藤橋の架け替え関連

の本年度計画、予算額はどのくらいか。
又、本格着工・完成目標年度等具体的な計画はどうなっているか。

答 内藤橋改築事業は菊池川改修と並行して実施される事業であり、20年度計画は事業費6千万円で用地買収・補償及び建物調査等の事業が予定されており、10月頃に内田・藤田地区に対し本年度事業説明会が予定されている。本格着工、完成目標年次等は現状不明であるが、手順として菊池川右岸部、県道玉名立花線の道路の付替を早急に進める必要があると考えている。

問 江栗地区（県道315号線）の冠水対策は地域住民の安全安心を確保するうえから最優先課題である。国県に対し積極的な働きかけが重要であるが町長の考えを伺う。
又、町単独事業で取り組む考えはないか。
答 江栗地区の冠水対策については、安全安心を確保するうえから最優先課題であると十分認識している。

2月24日和水町道路整備推進委員会が設立され、その中で江栗地区冠水対策委員会が組織され先般先進地視察等が実施されている。町としても、国県、関係機関と協議する機会を設けて早期完成に向けた取り組みの会議を早い時期に設けたいと考えている。
現状国県の財政状況は厳しく公共事業は年々削減される状況にあるが、あらゆる手段を持って取り組んでいく。



江栗地区冠水対策事業「臨時設備用地」完了現場

町立病院の活性化について

問 現在欠員状態にある医師確保策について町長の考えを伺いたい。

答 医師確保対策は自治体病院共通の悩みであるが、今後院長の思い、考え方を聞いて私（町長）自ら必死になり努力し医師確保を見出していきたい。町民の健康、安心安全を考え院長以下全職員頑張っていることに關し町民の理解を頂きたい。

問 職員の意識改革にはどのように取り組んでいるか。

答 医療を取り巻く環境の変化、自治体病院の厳しい経営環境下、職員一人一人が町立病院に与えられた使命を自覚する様に、また質の高い医療の提供と病院運営を支える優秀な人材育成のため、各部においていろいろな研修を行っている。看護部においては、20年度目標が「接遇と地域に向けての連携と看護ケアの提供」を掲げている。又、月一回テーマを決め、研修を実施し、職員個々が自己目標を設定・評価・面接指導等結果を総局長が点検している。管理職が目的意識を持って全職員の意識改革に取り組むたいと考えている。

産業廃棄物最終処分場問題について

問 水俣市に進出計画の産業廃処分場は進出を断念した。同じ境遇にある和水町として町長は水俣市の状況をどの様に受け止めておられるのか。

答 市挙げての反対運動、環境影響評価調査手続きの中で、再調査指摘が43項目にのぼる知事意見がなされた事等事業者の経営判断として事業中止に至ったと理解している。

問 地下水等の調査結果、環境影響評価方法書の公告、従覧の実施など処分場全般について伺いたい。

答 地下水調査は20年度で内田、長小田全戸調査を実施中である。環境アセスメントの公告従覧も近々計画されており住民説明会も日程調整中と聞いているが、環境アセスの内容を充分事前説明する様との指摘については県にも継ぐ様にしたい。町長として住民の皆さんと一緒に、事あれば意見を代表して町民の安心安全のため県に意見を申し上げていきたい。



番城グラウンド駐車場 計画について

問 19年度において、駐車場計画にともない設計がなされていると思われるが設計内容はどんなものだったのか。

答 当初予算を組ませていただきまして、測量設計を行っている。航空写真と併用して測量を行った。よって当初予算額を大幅に減額出来ました。この整備計画は小中学校統廃合を番城周辺にと考えている。したがって統廃合と合わせて今後整備を行ってまいりたいと考えている。又、現在町民体育祭、番城グラウンドでのスポーツ大会において現駐車場が不足しているのも事実であり、民間の土地を臨時駐車場として借りており、その対応策にも思っている

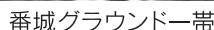
問 20年度予算に組み込まれた事業計画はなされてい

いがどういふ考えか。

答 統廃合問題を考えている中で、合わせて総合的分野で整備してまいりたいと思っている。又、大きな大会なりイベント等があった場合においても対応出来る様駐車場の整備を考えていく。



帯広グラウンダー番



ひまわり保育園、きくす
いの里、レンガハウス周辺
の振興計画について

問 19年12月に補正予算が組まれ周辺の計画設計がなされていると思われるが、設計の内容はどのようなものだったのか伺う。

答 補正を組ませていただきます。き周辺の整備計画、測量設計を行っている。町で保育している土地、一部民間の土地を購入する形になるが、住宅用地として、2案の青写真を作成し、現在、今度とも検討してまいります。

問 現在設計をもとに基本

的構想が考えられていると思われ、内容を具体的に伺いたい。

答 2案の計画を作成している。しかしこれで万全ではない。ありません。一万㎡以上の宅地開発となると造成許可が必須となる。その事もふまえ、小規模な開発も考えられますがやはり全体の構想を視野に入れて最初の開発を考えていく。

問 番城グラウンド駐車場との整合性も考えていると思われるが如何か。

答 駐車場整備、学校統廃
合問題、又、その周辺の整備
と合わせての整備計画であり
当然ながら両通した整合性に
なるものと考えている。

問 番城グラウンド周辺、グラウンドも含めた総合的な計画をするべきではないか。

答 グラウンド周辺地には
体育館、ふれあい会館、弓道
場と建設しており、駐車場も
完備しており、今後小中一貫
校も考えており、教育ゾーン
と位置づけて整備を考えてい
る。又、レンガハウス周辺に

おいても現在町が所有している土地1、500㎡程度確保しており、住居ゾーンとして宅地造成し、定住促進を進め、又、財源の確保に努め事業も早急にと考えている。

旧三ヶ町の焼却場施設
第二清掃センターの跡
地の件について

問 平成19年8月より3ヶ月程度の月数をかけ、野積灰が最終処分場へ移設され、梅雨時期も遇し、処分場より出る排水の濃度等、基準値にあっていたか。

答 有明広域行政事務組合で現在管理がなされている、広域組合よりの資料提出において、移設後の排水は、法に定める基準値以下であった。毎月定められている検査は行っており、年一度行う検査においても実施しており、現在のところ異常は見られない。

問 正確な数値、成分の検査はなかなかむずかしいと思われるが、今後何年間位い検査は行われるのか伺いたい。

答 何年間とは答えられない

いが、完全に、安全、安心と結果が出る迄は続けていく。毎月の検査、年一回行う検査により完全に到る迄行う。

問 地域住民への説明は十分に
行っていくとの事であったが、
如何なっているか。

答 毎月の検査、年一回の検査をふまえ、久井原区、上久井原区の区長さん、又、幹部の方々に報告を行いつつ、又、年一回12月頃に、区長さん方より要請を受け報告に行っている。又、検査資料も保管してあり、必要に応じて要請があれば出向き説明をしていく。

問 平成22年後に現施設の焼却炉等々の解体が決定されている様である。地元としては全施設解体後整備が済んでやっとな問題解決と思っているが如何か。

答 22年以降、国庫補助が付くという事であり、解体計画を組んでいる、解体後の整備については制約もある様だが地元住民の意見を踏まえ充分なる跡地整備を考えている。